

総社市教育委員会会議録

- 1 開 会 平成30年6月18日 午後 2時00分
- 2 閉 会 平成30年6月18日 午後 3時12分
- 3 場 所 総社市保健センター2階 資料展示室

4 出席又は欠席した委員

出席委員

教育長	山 中 榮 輔
委員長職務代理者	林 直 人
委 員	小鍛治 一 圭
委 員	三 宅 眞砂子
委 員	上 岡 仁
委 員	児 島 塊太郎

5 会議に出席した者

教育部長	服 部 浩 二
参事兼庶務課長	弓 取 克 哉
学校教育課長	北 川 和 美
こども夢づくり課長	小 野 玲 子
生涯学習課長	横 田 優 子
参事兼文化課長	永 田 忠 幸
庶務課主幹	平 田 壮太郎

6 会議録署名委員

山 中 榮 輔	小鍛治 一 圭
---------	---------

7 付議事件

- 議案第18号 平成30年度総社市一般会計補正予算（第1号）について 原案可決
議案第19号 総社市公民館条例の一部改正について 原案可決

8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午後2時00分

山中教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。この委員会は議案2件が付議されております。まず会議録の署名委員についてであります。署名委員は規則第16条の規定により、私のほか、出席委員中、小鍛冶委員にお願いします。

山中教育長 では、議案第18号「平成30年度総社市一般会計補正予算（第1号）について」事務局から説明願います。

弓取庶務課長 【事務局説明】

北川学校教育課長 【事務局説明】

小野こども夢づくり課長 【事務局説明】

横田生涯学習課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの事務局から説明がありました議案第18号についてご質問があればよろしく願います。

【質疑・答弁】

上岡委員 部活動指導員ですけど、4人から7人で、種目は何ですか。

北川学校教育課長 今年度計上している7人につきましては、東中は吹奏楽、サッカー、西中は野球、ソフトテニス、総中は野球、ソフトテニス、昭和中はバスケットボール、以上の7名であります。

上岡委員 その後変わったんでしょうけど、引率できるんですかね。できることになったんですかね。

北川学校教育課長 引率も可能と聞いております。

上岡委員 もう1ついいですか関連で。働き方改革にも関わっていると思うんですけど、市全体の公立の幼稚園、保育所、小中ですね、マネジメントに関してはどういうふうにご指導されているんですかね、働き方改革として。

北川学校教育課長 もちろん今おっしゃられる様に働き方改革は今必須の課題でございます。例えば今回英語専科で英語の配置も進んでおりますけれども、一方、その専科の配置によってコマ数を純粋に減ずるように言われています。実際に今まで行ってきたものを配置によって負担が楽になると言う事を色んなところで確認をしながら、市教委としましてもそういった指導を行っていきたいというふうに考えているところでございます。

山中教育長 幼稚園はありますか。

小野こども夢づくり課長 幼稚園のほうも時間外などは削減するようにこちらからもお願いをしておりますし、人の配置につきましても、早朝預かりなども始まっておりますが、パートの方を増員したりですとか、細かい配分をして保育士、それから幼稚園教諭の負担がなるべくかからないように工夫しているところでございます。

上岡委員 すいません。校長先生方や園長先生方は、自分の園の経営方針の中に働き方改革というかそういう柱がちゃんとありますか。

北川学校教育課長 学校教育計画書の細部に至ってはまだ出てきておりませんが、自己目標シートというものを提出していただいておりますが、その項目には人事管理の所にチェックした所には明確に柱を置き、その取り組みについて校長教頭には早く提出していただくように、そして我々もこれを繰り返すことによって継続実施している所であります。

小野こども夢づくり課長 幼稚園の方も同じように計画書を出していただいております、1人ずつ園長面談をして訪問もしております。中には園長先生がすごいリーダーシップを持って、何時には帰れるようにとすごく工夫をしてくださっている所もありますので、そういう所をどの園も共有できるように、参考にさせていただけるように指導していきたいと思っております。

山中教育長 よろしいでしょうか。他に何かご質問がありますか。

林職務代理者 すみません。ふれあい広場の方の遊具ですけど、幾つあるんですか。

横田生涯学習課長 総合遊具になっておまして全部がくっついている形です。今回事故があったのは通称ターザンロープとってぶら下がって10メートルくらい進んでいくものですけど、それに滑り台のようなものや、ロープでお山のような形になっているものもくっついている総合遊具です。なので、全体で1つと言えば1つのものです。

林職務代理者 僕も時々孫を連れて行くんですけど、そういう感じではなくてターザンロープとかその辺の所は、確かにおもしろいなあとは思って、他にもちょっと今にはないような物も結構残っているなと思ったんですけど、総合遊具すべてを取っ払ってまた同じようなものを作っていくという話になるんですかね。2千万円で済むんですかね。遊具って高いようなイメージがあって。

横田生涯学習課長 凝れば凝っただけお金はかかるとは思いますが、今、既製品の遊具も色々出てまして、そういったものの組み合わせで総合遊具的なものに組み立てることもできそうなのでお金があまりかからずに良いものができるように、2千万円でできると思っております。

林職務代理者 だから個々の物を集めて総合遊具化するという話ですよ。

分かりました。

山中教育長 よろしいでしょうか。他にご意見ございましたらお願いいたします。

上岡委員 さっきちょっと聞き忘れたんですけど、働き方改革で学校の中で一番忙しい人といったら教頭先生じゃないかなと思うんですよ。教務は学校のマネジメント、カリキュラムを背負うだけで、そうは言っても教務も忙しいですけど。地域を背負っているのが校長先生で、校長先生は実務はしませんので教頭先生だと思うんですね。教頭先生はおそらくどの先生も過労死の時間を越えるような勤務形態じゃないかなと思うんですけど。2人入っている所はまだ良いんですけど。教頭先生を助けるような何か県の方針とか。国は補助員のことを書いていましたけど、市はどういうふうにされているんですかね。

北川学校教育課長 ありがとうございます。まさに一番背負うものをたくさん背負っている

のが教頭先生の職務という事で、一般常識的に教育の世界では教頭先生が一番先に来て一番最後に帰るといふような、そういう暗黙の常識があったと思いますが、まず総社につきましてはそんなことはないんだと教育長は色んな所で方針をお示しになります。教頭先生も早く帰ることは良い事だと言っていたので、教頭先生、校長先生が率先垂範して帰る学校も多く見られるようになっております。中学校は非常に根強く鍵の管理ということに関しまして、教頭先生が行うべきであるというふうな考え方がまだ残っていたと聞きましたが、今年度は多くの教頭先生が一番最後ということではなく、帰れるような雰囲気作りは進んでいるというふうに理解しております。今後も教頭先生が帰れるときは帰れるという、一番最後まで残る必要はない、鍵の管理をすべてする必要はないということは市教委としてもマネジメント上言っていく必要はあるというふうに考えております。以上でございます。

上岡委員 よろしいですか。鍵はいいんですよ。私が居った時から教頭先生は仕事が趣味の人が居るから帰りますって任せて帰るんですよ。朝も日直がいて当番がいて、その人が早く来て開けるのでそれはいいんですけど、仕事の量ですよ、はっきり言ってね。PTAの事もあり地域の会合の事もあり、それで保護者対応もですね、主任が駄目だったら教頭が出ていくわけですよ。もう完璧全部把握するだけでそれは教頭の仕事なんじゃといやそうかも分からんですけどもうちょっと何とかならんかなと思うんですけどね。

大きい学校だから小さい学校だからとは関係なく、それは同じ種類の仕事があるわけで問題行動が多いとかで余計忙しくなるんでしょうけど、何か考えて、働き方改革、この他の先生の時間数管理とはもっと異種の種類の違う重さがあると思うんです。その辺をちょっと検討していただけたらありがたいなと思いますね、教育長さん。

山中教育長 今、そういう事を中学校区でやっています、一番地域に近いのは昭和小学校、中学校で、そこでも今年が3年目になります。だいたい2割くらい地域との連携が減りました。それと秦も地域との連携が多いので、地域と一緒にやる行事をかなり去年から減らしています。そういうことが少しずつ進んできています。ただ、大規模校と小規模校とでは地域と、例えば東中と昭和中とでは全然タイプが違いますからそういうところをどうするかというのがですね。一番しんどいのはおそらくトラブルの多い家庭への対応が最もしんどい。トラブルがあると校長も教頭もずっと張り付きになりますから、そこへの対応をどうするかですけども、それを学校だけでやっていたんじゃ難しくて福祉部分との連携が非常に大事だと思います。先手を打って対応しないとおそらくこれから5、6年すると学校はひどくなると思っています。色々ありますけど不登校が増えているというのは事実です。

上岡委員 よろしくお願ひします。

山中教育長 他に何かご意見がありますか

山中教育長 第18号起案についてはよろしいでしょうか。

(異議なし)

山中教育長 ご異議がないようですので第18号起案については可決いたしました。

次に議案第19号「総社市公民館条例の一部改正について」事務局から説明願います。

横田生涯学習課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました議案第19号についてご質問ご意見がありましたらお願いいたします。

【質疑・答弁】

山中教育長 常盤第2分館はいつできるんですかね。

横田生涯学習課長 今、外溝工事中で、竣工は11月5日を目標にいたしております。11月下旬までに竣工式が行えればと思っております。

山中教育長 12月入ったら使える。

横田生涯学習課長 はい、そうですね。

山中教育長 他に何かご質問がありましたらお願いいたします。

林職務代理者 参考までに。さっき名称が色々あったんだという話で、どこでの話なんですか。

横田生涯学習課長 地元で組織いただいております建設準備委員会というのがございます。20人位が委員になっていただいているんですけど、それぞれ真壁、溝口、中原の町内会長さんであるとか、愛育委員、民生委員、婦人協議会の方、それから土木担当員、議員さん、もちろん地元の加藤議長、高谷議員、そういった方々に委員になっていただいてそこでの協議でございます。

林職務代理者 そこで落ち着いているんですね。

横田生涯学習課長 問題ありません。

山中教育長 よろしいでしょうか。

(異議なし)

山中教育長 それではご異議がないようですので第19号起案については可決いたしました。ありがとうございました。

山中教育長 次に私の方から報告をいたします。

1点目は北小学校が環境大臣賞をいただきました。地域環境保全功労者表彰というものでヒイゴ池をずっと長い間環境保全をしてきた。それが認められて6月13日に校長先生が東京で環境大臣から賞状をいただいたということです。

それから、市長は現在、ニューデリーのWHO世界大会で19日、20分位英語で講演を行う予定です。これは総社市の福祉についてということでWHOからオファーが来たということです。

今現在、幼・小・中・保育園・こども園を訪問中でして、全部で38箇所ありますのでやっと半分の19箇所まわったところであります。午前午後に1園しかまわれないわけではなかなか大変ですけど、夏休み前までに何とかまわりたいと思っております。

もう1点は、維新小学校英語特区ですが、今現在33名在籍がいてうち11名が転入。最

近の情報では、そのうち6名が不登校という状態です。

以上です。

山中教育長 私の説明につきまして何かご質問があればぜひお願いいたします。

林職務代理者 それに関連してすみません。維新小なんですけど33名で複式にはならない？

山中教育長 一部複式です。

林職務代理者 一部複式ですよ。そういった形の事がうまく提供できないと、そういうことは全然ないんですよ。複式だからということはないんですよ。

山中教育長 それはないです。

林職務代理者 学区外から来ているんですよ。

山中教育長 転居した人も含まれています。

林職務代理者 不登校だったらどこでもいいような感じだけど、何故維新小なんですかね。

山中教育長 よく分かりません。そういう状況になってしまった事自体が非常に問題で。

児島委員 変な話ですけど子育て王国そうじゃとうたっているからそういう人達が入ってくるようになるというのは。

山中教育長 元々それは分かっていたことなんですけども、比率が多くなりすぎると、特に小規模校では教育環境が課題となります。学校とのコミュニケーションも何回も行っているんですけど、表に出てこないと分からないというのも極めて残念な事だと思っております。新校長になったから分かった。

林職務代理者 昭和にもたくさん学区外から来ていますね。今懸念されたのは結局、地域意識というかPTA組織というものがうまく機能するのかなというところが問題だったと思うんですけどもね。そのいい事例があるんだったらそれを前面に出すべきでは。

山中教育長 昭和地区は非常にうまくいっている。昭和以外のグループでテントを作ってそこに運動会とか文化祭とかでは来られるわけですよ。それを皆が支えていくという。ですからすごくうまくいっている。しかし、維新は小さいからそういうコンディションになかなかない。なぜそうなったかこれからちょっと考えないといけない。いずれにしても小規模校でこれ以上不登校が増えると学校行事への影響が大きく、支援員を配置をしてこの子たちが出て来られるようにしていきたいと思えます。

三宅委員 そういった方達がそちら方面に行っている感じがしますね。難しいですね。

山中教育長 小規模校では影響が大きい。

林職務代理者 6人全員が市外の方じゃないですよ。

山中教育長 ほとんど市内ですけど一部は市外。それから転入もいます。

林職務代理者 せっかく特区ですよ、少人数指導を受けれるというふうな、また自然も豊かだというふうなことを期待していた保護者ですよ、実際はそうではなかったという部分に触れたときにはちょっとマイナス効果になりますよね。

山中教育長 不登校でもいいんだという考え自体は、そういう理念が全く違うわけですから。地域と連携できませんから。

林職務代理者 家庭が壊れている。

山中教育長 そこまで確認はできていません。

児島委員 よく施設で子どもを、親だからといって子どもは私のものだと、教育は私がやるんだという感覚で今のような問題が来ますよね。子どもを扱う施設、市のそういう場所がありますけどそこが取り上げられない、行政的に。子どものためにならない。今言われる、預ければ預けるほどそういう子どもが大きくなる。ますますどうにもならなくなる。

林職務代理者 どこまでアウトリーチができるのかという話になったときにですね、難しい部分はあると思うんですけどね。まあそういった事を聞くとですね、内縁の夫とかその辺がいたときですね、虐待とか不登校とかどういうふうな形になっても分からないってなった時に、それこそ本当に児相とかそういった所と連携を組みながらですね、やっていくというのにも必要になってくるんじゃないかなと思いますけどね。

上岡委員 カウンセラーとか支援員さんは付くんですか。

山中教育長 支援員は付くんですけども駄目なんです。

児島委員 そういう子どもがまた大きくなって全く同じ事になっちゃうんでね。連鎖で増えていきますね。

我が家も九州でそういう子どもを預かって。でも完全に離してしまうと子どもが自立していきますよね。優秀な子どもも中にはいるので、やっぱり会わせないのが一番ですね。

山中教育長 と思いますね。

三宅委員 要保護家庭ではないんですか。

山中教育長 要保護なんですけども。

児島委員 僕は総社でそういう状況があるんだとは全然分かりませんでしたけど。

山中教育長 総社は住みやすく福祉も充実しているから、そういう家庭がどんどん増えているということ。1学年の転入者がだいたい年間140人～150人です。

小鍛治委員 前から気になっていたんですけど不登校というのはカウントしていて、結構いると思うんですけど、遅刻ですよ。午前中10時とか11時頃に学校に行ったりとかしている子は、そういう子はカウントされているんですかね。

山中教育長 別にフォローできるように、チェックしています。親というか家庭の教育力のバラツキが大きくなっている。それを学校だけでカバーするのは難しい。もう限界にきていますね。福祉は良いんですけどもそれに人をやっぱり入れていかないと。家庭をサポートするシステムを作っておかないと、それはどんどん学校に負担がかかっていく。

小鍛治委員 もう1つは安全面といいますか、完全に1人で単独行動をするわけですから、もし何かあったときに誰もわからない状況になってしまう。すごい危険だなと思っています。

山中教育長 安全面は課題です。

三宅委員 朝なかなか起きれないという子どもですが、やっぱり食事とか栄養とかそちらの方の問題もかなり大きいんじゃないかと。家庭の問題がもちろんありますけれど。鉄分が足りないと朝なかなか起きなくて、一応検査をして鉄分が足りないから治療しなさいと言ったら元気になっていく子もいるので、早寝早起き朝ごはんじゃないけれどきっちり自分でもちゃんと食事ができる。親が起きていなくても。聞いたら夜勤で居ないからといって帰ってきてから寝て、自分でもちゃんと作ってゆで卵でも何でも食べれるような、そういうふうな学習ばかりではなくてそんな生活の手段を自分で考えてやっていけるような指導も必要ではないかなと思います。

山中教育長 ただ、そういう事ができるのは高学年なんですよ。1年生、2年生、3年生はとても無理です。それは学校だけではフォローしきれないですね。そういう実態をどうするかというのは福祉部門と連携をして家庭に働きかけるという事は大事でしょうね。

児島委員 この前、町から町に移って結局子どもが亡くなっている状況が報道されたじゃないですか。ああいうことがここで起こったりすると大変な問題ですよ。法的に子ども達の救済は出来ないんですか。

山中教育長 あの子は幼稚園も行っていなかったですよ。四国に居た時は毎日フォローをしていたんですよ。引越ししてからは1回行っただけで市がフォローをしていないんですよ。総社市はそれはきちっとやっていますからそれは大丈夫です。

児島委員 そうですか。

山中教育長 移った事がキーワードですよ。もう面倒くさいから移ろうとって親が移ったんですよ。1回か2回は行っているみたいだけど。

児島委員 総社市が住みやすいという。

山中教育長 ありがたいことですけど、ある程度量が増えたらもう学校でカバーしきれないですから。市の福祉部門との連携を一層密にする必要があります。

児島委員 今言われた教頭先生がかなり苦勞をされておると。

山中教育長 教頭先生だけじゃなく担任も苦勞するわけです。そういう学校ごとの差違が分からないと、そのために現場に行くんですけどね。校長先生とか先生はそういうしんどい事は。現場を見たらよく分かりますよ。

三宅委員 生協なんかで食事をするような、一生懸命これからやっといこうとしているので、そんな所と連携してやっていますからね。

上岡委員 子ども食堂みたいな。

山中教育長 いっぱい作れないでしょう。総社市レベルだと。これも難しいところでね。

三宅委員 中学校にそんなのができて増えるかもという感じになればいいですね。誰かが最初に行くようになったらあそこ行くと良いよという口コミかなんかで広がっていくんだろうと思いますけど最初が肝心ですね。

山中教育長 今まではね、そういうことはプライベートで校長先生、教頭先生がやっていた

んですよ。それはもうシステムとしてやらないともう追いつかないですよ。

林職務代理者 そういう家庭の問題が子どもに表れてる場合、前ね、サポートチームかなんか作ったんだけど、今機能しているのか無くなったか分からないですけど、チームを組んで対策会議みたいなのをやっていたんですけどそんなのは課長さん、されてるんですかね。個別対応ですかね。ケース毎にいろんな人が集まって何ができるかと。ただ連携だけじゃなくて行動連携までしようとかいってやっていたんですよ。そんなのは今まさに必要じゃないですかね。学校任せにするんじゃないで。

小野こども夢づくり課長 要保護児童対策協議会というのがありまして、各担当課それから警察、児相などが入っていて、問題が起きたらケース会議を開いて個別に対応しています。また、個別対応チームもあり、ケース会議も今ワンフロアになっているので、こども課とこども夢づくり課と学校教育課とがすぐ集まってケース会議を開いています。

山中教育長 それでは報告事項に移ります。総社市学校給食センター、仮称ですけど新築の仮契約業者についてと、新認定子ども園の園舎工事の仮契約業者について事務局から説明願います。

弓取庶務課長 【事務局説明】

横田生涯学習課長 【中原会館代理館長についてと大相撲総社場所についての説明をされた】

山中教育長 何かご意見がありましたらお願いいたします。

林職務代理者 あの給食センターはチュッピーの絵を描くようになるんですか。

弓取庶務課長 絵を描くというよりもシールを貼るといようなイメージで思っただけたらと思います。

林職務代理者 いいんだけど乳幼児の感じがするんだよね。学齢期の子もいるので、チュッピーの成長版はないのかなって。

弓取庶務課長 色んな絵柄につきましてはご意見等も多々あります。いずれにしましても、やはり子育て王国そうじゃのシンボルキャラクターでもございますし、ゆくゆくは幼稚園の給食というものを視野にも入れて建物を建設いたしますので、そういったところも捕らえまして子ども達が来たときですね、親しまれる施設というところを目指してこういったデザインを考えたところでございます。奇抜といえば奇抜、何もないと寂しいかなという気はしますので、ないよりはあったほうが良いんじゃないかなというところもこちらとしては考えておりまして、こういったデザインにしたいと思ったところでございます。

三宅委員 チュッピーって総社の子ども達に十分愛されていますので構わないんじゃないかと私は思いますが。

山中教育長 よろしいでしょうか。

服部教育部長 すみません。今日特段資料をお付けしていないんですけど、教育委員会が関係しております学校ですとか、幼稚園、保育所、あるいは文化芸術スポーツとか様々な催し物がオフィシャルなもの沢山ございます。教育委員会の皆様におかれましては、学校の入学

式卒業式につきましてはご出席をお願いしているところがございますけど、教育委員会では様々な催し物イベントがございますので、毎月の教育委員会のこの先2ヶ月分程度の催し物の資料をこれからお出ししようかなと思っております。もちろんご多忙かと思っておりますのでご参加を決して強制するものではございませんけれども、色んな事が早く情報だけでもこの場でご提供できればと思っております。きっかけは1つございましてですね、運動会、春と秋と今半々位に小学校中学校でやっております、5月が今春のパターンで実施しました。教育委員会はどこの学校、園にも担当の者になる場合もあるんですけど様子見に参加させていただいているんですけど、市長さんなんかは教育委員さんもぜひ学校の運動会を見ていただけないかなと思っております。というのが特に運動会は子どもの様子という事以外にもPTAの方、あるいは地域の方がたくさんお集まりになります。学校によって色々雰囲気とかかなり違ったものも直に見ていただけるのではないかなということもありまして、運動会につきまして、直接委員の皆様にご案内差し上げるかちょっとまだ決めておりませんが、色んな催し物の中でも入学卒業式以外に運動会というのは非常にそういった意味合いがございまして、ぜひご覧いただく機会があればなと事務局も考えております。先程申し上げました色んな催し物の資料と共に運動会の扱いについてもちょっと検討しておりますので、ご案内なりご相談なりをさせていただきたいと思っております。以上です。

山中教育長 よろしいでしょうか。それでは他にございませんか。

三宅委員 すみません。今年、沖縄ではしかが流行しましてちょうど修学旅行に行く頃にはしかが流行っております、麻疹のワクチンを打っていますかということで吉備医師会の方から色々出していただいて、学校の方では真摯に対応していただいてありがとうございます。学校における麻疹対策ガイドライン2018については学校の先生方はご存知かも知りません。平時の対応についてですが、まずワクチンをしっかり打っているかどうかと罹患歴の確認で、麻疹を確実に予防するためには1才以上で2回の予防接種が必要である。学校内で麻疹の流行を予防するためには、麻疹の免疫状態を把握しておく事が重要である。就学時検診がもうすぐありますが、その時に麻疹風疹ワクチン、MRワクチンの接種歴を母子手帳で確認して未接種の場合は年度内に接種する事を強く勧めます。年長時は定期接種でお金がいりません。定期健康診断毎年やっていますね。保険調査がありますがその機会を利用して母子手帳を見て接種年月日を報告してもらいたい事が望ましい。未接種の場合は任意でも接種するように勧める。これは児童生徒に対するものですが、東中の方でやっていただいた。うろ覚えなんですけど280名位の内5人がワクチンを全く受けていない子がいて、1回接種のみの子が15人、まだ私達医師会からしたら結構皆さん頑張ってやっています。市のこども課の方でも頑張ってやっていただいておりますし、総社市に場合は1998年位から予防接種手帳で総社市にずっと住んでおられる方は接種履歴が残っております。これは全国的にも誇れるものだと思いますし、ずっと総社に居られる方だった接種したかどうかこども課の方に問い合わせをさせていただいたらある程度分かります。

次の問題は職員の方なので、予防接種歴、罹患歴の確認、次のフローチャートに従った適切な対応をとる事が求められる。要するに2回ワクチン接種を受けているかどうかということで、罹ったかどうかと2回受けていれば良いですよということで、予防接種を1回確実に受けているけれどという感じの方が大半で、結局1回も予防接種を受けておらず、かつ、麻疹に罹患していなかった事になれば、特に20代40代の世代の方は麻疹患者に報告が多いので注意する必要がある。またまた東中の例を出しますが、校長先生はばっちりありました。若い先生は1回打っておられる先生がだったんですがやっぱり抗体が低くて2回目を打っていただきました。記憶に頼ることなく母子健康手帳で調べるなど確実な情報に基づき判断する必要があるということですが、50代60代の方は分かりませんよね。60才以上だと大抵罹っております。麻疹に罹った記録が残っている事、確実に麻疹の免疫があるかどうかを血液検査で調べて陽性であることが確認されている事などが当てはまります。ワクチン接種をする場合は風疹抗体価も低い事が多いので麻疹単独ワクチンではなく麻疹風疹混合ワクチン、MRワクチンを接種する事をお勧めします。費用は任意接種で1万円前後です。ややこしいこの資料は吉備医師会の先生方に配ったんですが、抗体価の判断の仕方を載せております。来年も中学校は沖縄ですし、小学校も大阪とかに行きますので、学校の先生方だけではなく子どもに接する方々、総社市役所の皆様方に接種をお願いしたい。市長は打っています。一応そういうことで来年度これからじっくり時間はありますので、対策を立てていただきたいなと思います。以上です。

山中教育長 どうもありがとうございました。

他に何かございませんか。よろしいでしょうか。

山中教育長 それでは次回の教育委員会の日程についてであります。既にご承知のとおり、7月23日、午後2時から開催いたしますのでご参集願います。

山中教育長 この際8月の教育委員会の日程を調整したいと思います。よろしく願います。

(8月の教育委員会について日程調整)

山中教育長 では、8月の教育委員会は、8月23日午後14時00分からよろしいでしょうか。

では、これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

【閉 会】

閉会 午後3時12分

上記記録している内容は、正確であるので署名する。

平成 年 月 日

教育長

委 員

職 員